

JSS F4 Scholarship Report

JSSスカラシップドライバー(FJからF4へのスカラシップ)平川 亮選手のF4レース参戦レポート

J A F 地方選手権 F 4 西日本シリーズ第2戦

大会名 2011 鈴鹿クラブマンレース

期 日 2011年 5月 8日

開催場所 鈴鹿サーキット 東コース

参加台数 10台



F4西日本シリーズの第2戦は舞台を鈴鹿に移し、東コース、参加台数10台で争われた。

JSSスカラシップドライバーの平川 亮選手は初戦を2位で終え、より内容を高めるべく練習走行から積極的に走る。練習走行では、やはり前回優勝の関口選手が好タイムを出しており、平川選手と二人だけが49秒台をマークしており、他のメンバーをリードしている。

■公式予選 2位

つい先日まで涼しかった気候も、週末は、いきなり暑くなり初夏の陽気へと切り替わった。予選が開始され他の全車がコースインする中、平川選手はピット前でスタンバイする、すぐに雲り空がくるとの読みだ。計測が始まると、川村、大島、吉本、辻選手の順でタイミングモニターに示される。早々にコースインした関口選手だが、ゆっくりと数周をかけてタイヤに熱を入れるとタイムアタックに入った。そしていきなり48秒台に入れてくる。それを確かめように平川選手もコースに出て行く。平川選手も3ラップをかけてタイヤを温めアタックに入る、計測は48秒904で関口選手に0.08秒遅れている。次のラップに入ると、2コーナーでスピンアウトした車がありイエローフラッグが出てしまう。その数周後、フラッグが解除されて再びアタックするが、49秒は切れずに2番手で予選を終了した。3番手には上田選手が50秒を切り、4番手には1850ccの川村選手が50秒026という好タイムで続いた。

順位	車番	ドライバー	機種名	車名	タイム
1	50	関口 雄飛	RK01	B-MAX・RK01・TODA	48.824
<u>2</u>	<u>14</u>	<u>平川 亮</u>	<u>ZAP F108</u>	<u>クリオン JSS ZAP F108</u>	<u>48.904</u>
3	2	上田 和秀	MC090	EXEDY☆MC090☆Leprix	49.912
4	56	川村 和希	WEST976	プロジェクトKK マース PFC	50.026
5	3	片寄 勝政	KK-A	ミストKKAセキグチSR	50.095
6	71	大島 功稔	WEST056	T-flap・レブリ 056	50.321

■決勝レース 優勝

天候は晴れ、午後になると気温はより上がるが、まだ風は涼しい。

5ユニットによるスタートでは全車クリーンスタートを切る。うまくスタートを決めた平川選手はポールの関口選手を交わして1コーナーに先頭で飛び込む。関口、片寄、川村選手の順で続く。平川選手は関口選手から攻められるというよりも、僅かにペースは速く、3周目に入ると1.2秒の差をつけはじめる。3位の片寄選手は関口選手の7秒離れる。それほどトップ平川選手のペースは速いが、すると関口選手がショートカットでコースオフ！を喫するが順位を落とすことなく、すぐにコースに戻るがフロントウイングが曲がっており、平川選手からは5.4秒の差がついてしまった。

これで一気に楽になった平川選手だが、決してドライビングの手は緩めずに飛ばす。その後、ウイングを痛めた関口選手を片寄選手が抜いて2位に上がる。しかし、その時点でトップの平川選手からは20秒の差がついていた。3位争いは激しく、関口、川村、上田、辻、平井、塚田選手の6台がダンク状態となったが、やがて1コーナーで川村、関口選手が接触、コースアウトをしてしまい、3位争いは平井選手で決着がついた形となった。

結局、平川選手は終始誰からも攻められることなく、ファステストラップも記録しつつ、2位を27秒も引き離す形で、F4レース2戦目にして優勝を飾った。2位に片寄選手、3位には1850ccの平井選手が入った。

順位	車番	ドライバー	機種名	車名	周回	タイム
1	14	平川 亮	ZAP F108	クリオン JSS ZAP F108	23	19'17.457
2	3	片寄 勝政	KK-A	ミストKKAセキグチSR	23	19'45.325
3	27	平井 祐次	WEST006	中古車屋なめとんか006	23	20'00.267
4	44	塚田 光彦	WEST056	東海電装・WEST・sprint・056	23	20'00.524
5	50	関口 雄飛	RK01	B-MAX・RK01・TODA	23	20'24.130
6	56	川村 和希	WEST976	プロジェクトKK マース PFC	23	20'26.838